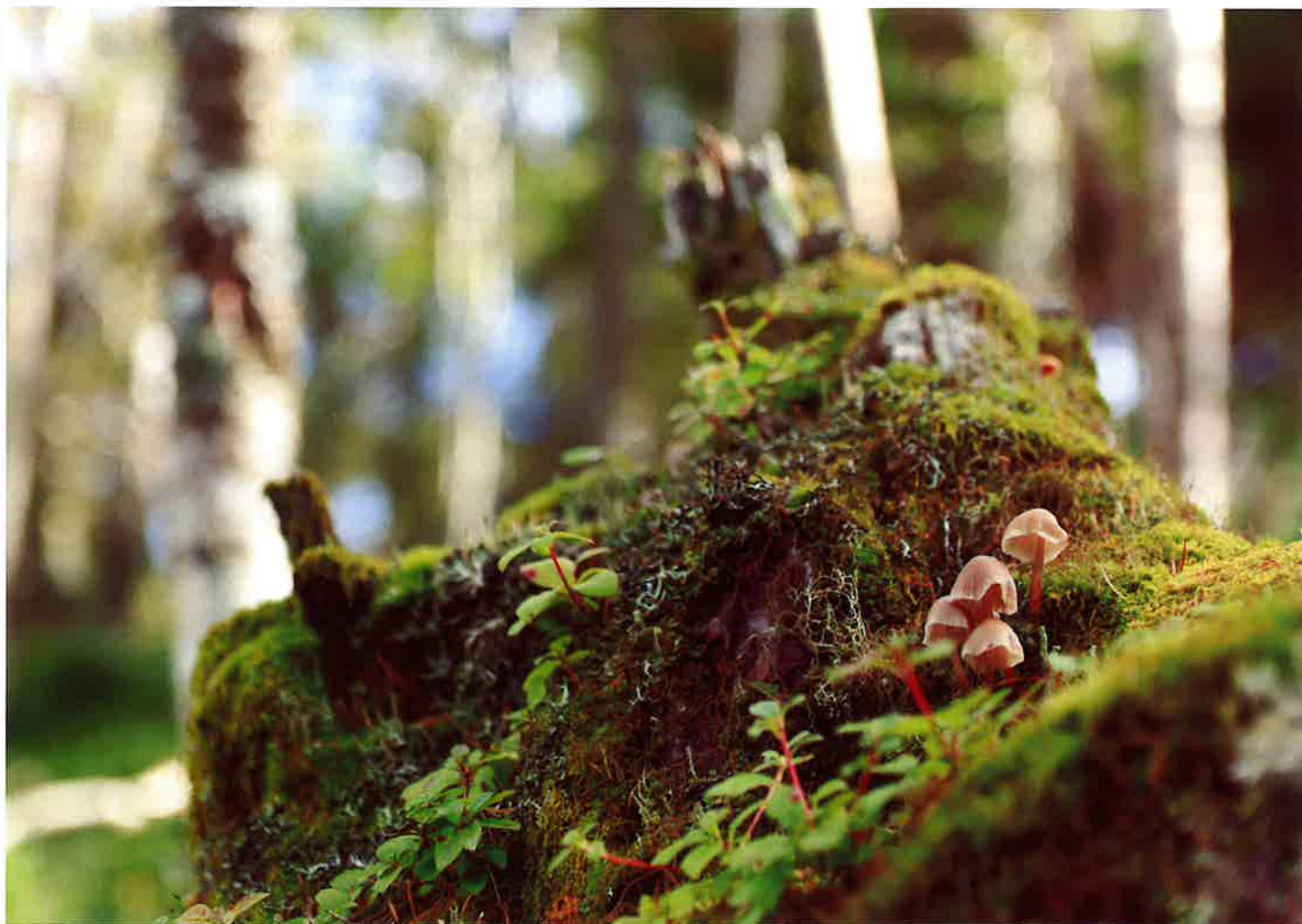


協会だより



コケ「苔むす森、奥秩父」
写真提供：秩父消防署北分署 金室宏和

【令和6年度 全国統一防火標語】

「守りたい 未来があるから 火の用心」

【令和6年度 危険物安全週間推進標語】

「次世代へ つなごう無事故と 青い地球」

年頭のご挨拶



秩父防火安全協会 会長 宮前 隆 一

令和7年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、当協会の事業に対しご理解と多大なるご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震が発生し甚大な被害を受けました。被災地の皆様が一日も早い復旧、復興を願っていたところ、追い打ちをかけるように9月の能登豪雨が被災地を襲いました。多くの河川が氾濫し、仮設住宅の浸水や土砂崩れにより孤立した集落が多数発生しました。そして再び、命と暮らしが脅かされる事態となりました。地震や豪雨災害でお亡くなりになられた方々のご冥福と、一日も早い復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

昨年10月頃から年末にかけて全国各地で住宅火災が多発し、多くの尊い命が失われました。幸い秩父地域においては、火災や自然災害等の発生は少なく、大きな被害はありませんでしたが、油断は禁物です。当協会では、事業所、危険物施設の安全管理体制の強化や地域住民の防火防災思想の啓発に努め、安心・安全なまちづくりに寄与したいと考えております。皆様には引き続きご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、秩父地域の安心・安全と会員皆様の益々のご発展、ご健勝を祈念いたしまして年頭のご挨拶といたします。



秩父防火安全協会 顧問
秩父消防本部 消防長 加藤 好 一

輝かしい令和7年の新春を迎え、消防防災関係者の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

秩父防火安全協会の皆様におかれましては、平素から防火対象物事業所並びに危険物事業所等の関係者に対する安全教育、各施設及び設備等における自主的な安全管理体制の整備推進など、多岐にわたる業務を通じて各分野の安全・安心の確保にご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、1月に発生した能登半島地震で北陸各県に甚大な被害を及ぼし、多くの尊い人命と財産が失われました。また、復興の中、9月には能登半島豪雨により、更なる被害の拡大が生じました。地球温暖化がもたらす異常気象は、激甚化・頻発化しており、水害・土砂災害等の気象災害が全国各地で発生しております。秩父地方においてもその危険性が危惧されているところです。更に首都直下地震や南海トラフ地震の発生も懸念されるところです。

当消防本部といたしまして、秩父地域住民の皆様には安全が提供できるよう職員が一丸となり取り組んでまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、秩父防火安全協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、また、本年が災害のない穏やかで幸多き一年でありますことをご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

令和6年度 評議員会・定例総会

令和6年6月12日(水)、ちちぶ広域消防防災拠点施設研修室において評議員会、その後秩父消防本部講堂において定例総会が開催されました。

評議員会では、会則第9条に基づき常任理事の選任について審議され、笠原 昇消防署長の選任が承認されました。

定例総会の議案審議に先立ち、当協会に係る各種表彰の伝達式が執り行われました。受賞団体及び受賞者の皆様を下記のとおりご紹介させていただきます。定例総会では4議案が審議され、すべて原案のとおり承認可決されました。また、視察研修や防火・防災DVDの貸出等、当協会で実施している事業についての紹介・報告も行いました。

提出議案

- 第1号議案 令和5年度事業報告について
- 第2号議案 令和5年度収支決算について
- 第3号議案 令和6年度事業計画(案)について
- 第4号議案 令和6年度収支予算(案)について

役員の紹介

※前年度から変更はありません

- 会長 宮前隆一(秩父ガス株式会社)
- 副会長 皆川倫治(株式会社オプナス)
- 副会長 山口能弘(株式会社山口組)
- 副会長 関口正明(有限会社関口商店)



総会の様子



常任理事 笠原 昇

令和7年度は、会則第12条に「役員の任期は、2年とする。」と定められていることから、役員の改選が行われます。

公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会表彰

★優良危険物事業所

株式会社ENEOS フロンティア
Dr.Drive セルフ秩父上野町店

★優良危険物取扱者

室久保洋子(株式会社タイセー)
高橋由美子(株式会社日新テクノ)
黒澤 秀敏(秩父温泉株式会社)

★優良普及啓発活動

ウニクス秩父

秩父防火安全協会表彰

★優良防火管理者

関口 里美(社会福祉法人明星福祉会 明星保育園)

受賞者の皆様、大変おめでとうございます。



表彰
受賞者

(順不同・敬称略)

令和6年度 視察研修 首都圏外郭放水路・造幣局さいたま支局

令和6年10月21日(月)、秋晴れの下、秩父防火安全協会視察研修を実施しました。

今回は20名の参加者で、【首都圏外郭放水路】【造幣局さいたま支局】を視察しました。首都圏外郭放水路では、地下神殿コースの見学に参加しました。首都圏外郭放水路の役割とその構造の説明を受けた後、長さ7m、幅2m、高さ18m、重さ500tの巨大な柱59本が立ち並び地下神殿(調圧水槽)を見学しました。その後は造幣局さいたま支局へ立ち寄り、ガイドの熱心な説明を受け、硬貨の歴史や製造工程を視察しました。研修中には本年協会で購入した「火災予防横断幕」のお披露目も行いました。知識を深め、事務局、会員相互の交流を深められた一日となりました。



地下
神殿



造
幣
局



視察研修に参加して

社会福祉法人 秩父正峰会
特別養護老人ホーム 和泉の森 青木 榮

今回初めて秩父防火安全協会の視察研修に参加させていただきました。

首都圏外郭放水路(防災地下神殿)では、テレビでも有名な調圧水槽内を見学し、脇には堆積した土砂が残っており、柱の汚れも確認できました。実際に防災施設として稼働した痕跡を見て体感できることは、視察研修ならではの感想でした。見学後、施設付近の地形をみると、川幅が狭く土手も低いため、この首都圏外郭放水路が洪水被害の軽減に重要な役割を果たしていることが想像できました。

造幣局では、製造や展示された貨幣などを見学でき、とても興味深かったです。七宝章牌という金属工芸品は、秩父夜祭をモデルとした貨幣もあり、身近に感じることもできました。

近年、自然災害や異常気象により、甚大な被害が発生しています。私自身お年寄りの方と接する仕事となりますので、視察研修で体験したことを生かして、防災や安全対策など、今後の参考としていきたいと思います。



消防体験学習を実施しました

夏休み期間中の7月31日(水)、秩父消防本部管内にある少年消防クラブ員及び育成会員の小学6年生を対象に、指導者を含めて30人が消防体験学習に参加しました。

消防体験学習は昭和62年に開始し、今回で38回を迎えました。学習内容は、放水体験、消火器訓練、ロープ結索訓練、おもちゃ花火教室です。当協会は、この事業へ助成を行っています。当協会の60周年記念で記念品として贈呈した楽々消防隊(本物の炎を使用した消火訓練機器)も活躍しました。青空の下、小学生最後の夏休みの思い出になったと思います。

全員集合!!



楽々消防隊



放水体験



ロープ結索訓練



宝くじの助成金で整備しました

消防体験学習開催に伴い、「小型ジンバルカメラ」「訓練用水消火器」「心肺蘇生訓練用人形」「子供用防火衣一式」を宝くじの助成金で整備しました。有効に活用させていただきます。

この宝くじ助成金は、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの受託事業収入を財源に、宝くじの社会貢献広報事業のコミュニティ助成事業として、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に、様々な分野の地域コミュニティ活動を支援する制度です。



住宅用火災警報器（住警器）等配布モデル事業に横瀬町が当選！

一般社団法人全国消防機器協会が実施する「住警器等配布モデル事業」に、横瀬町を対象として秩父消防本部が申請したところ、全国72地区が申請した中、当選20地区の一つとして選定されました。この事業は、高齢者宅から火災を未然に防ぐとともに、住民の住宅防火に対する意識の高揚及び住警器等の普及促進を図ることを目的として実施するものです。

住警器100個、住宅用消火器25本、防災毛布25枚が無償で配布されました。当選を機に、令和6年9月19日（木）、贈呈式を横瀬町役場において実施いたしました。住警器を該当高齢者宅へ配布いただく各区長様に対し、秩父防火安全協会からもトートバッグと携帯ライトを記念品として贈呈いたしました。



住警器普及啓発に注力！ 住警器の設置率が飛躍的に上昇！

上記モデル事業に限らず、秩父消防本部では住警器の普及啓発活動を継続実施しております。秋の火災予防運動期間中は、県下一斉住警器普及啓発広報や秩父消防署・分署ごとに管内各事業所の敷地をお借りして、同じく住警器普及啓発広報を実施しました。併せて、11月末まで、ユニクス秩父様に設置されているデジタルサイネージに、住警器の設置促進動画を掲載しました。

また、本年度も11月7日（木）に、ちちぶエフエム様の番組「人生いきいききあうラジオ」に秩父消防本部予防課の職員が出演し、住警器の設置や電池交換などについて広報させていただきました。

近年の各種住警器啓発広報活動の成果が表れ、秩父消防本部管内における住警器の設置率は、令和5年調査77%から令和6年調査86%と飛躍的に上昇しました。秩父防火安全協会とタイアップしながら、今後も引き続き住警器の普及啓発に注力していきます。



火災予防駅伝を実施しました！

コロナ禍では実施を控えていましたが、昨年度に引き続き第10回火災予防駅伝を令和6年11月8日（金）に実施しました。

今回は秩父市中央地区において火災予防広報活動を実施しました。ランナーが拡声器を使用して直接広報し、火災予防の横断幕を掲げながらゆっくり走ったことから、地域住民の目に留まりやすく効果的な広報になりました。



社会福祉法人織船会 ウェルハイム・ヨコゼ

私たち社会福祉法人織船会は、地域の皆様に寄り添い、心温まる介護サービスを提供しています。私たちの施設には、地域密着型特別養護老人ホーム「絆の丘」と特別養護老人ホーム「ウェルハイム・ヨコゼ」があり、短期ショートステイやデイサービス、居宅介護支援事業所など、多様な介護事業を展開しています。

私たちの活動は、地域の方々やご利用者様、そして従業員の皆様の温かい支えによって成り立っています。これからも私たちは、家族、職員、そして秩父地域に暮らす全ての方々が幸せを感じられる法人を目指して努力してまいります。

詳しい施設情報や最新の活動については、ぜひ私たちの公式HPやInstagram、TikTokをご覧ください。私たちは防災管理の徹底にも力を入れ、安心・安全な企業運営を実現していく所存です。



ちちぶエフエム株式会社

この度、秩父防火安全協会に入会させて頂きましたちちぶエフエム株式会社です。

「ちちぶのつながるステーション」をコンセプトに、生活に密着した情報から観光に役立つ情報、娯楽や文化も交えながら、多種多様な情報を生放送でお届けするコミュニティFM放送局です。

また、防災メディアとして災害時に備えて地域の防災・災害情報をお届け致します。防災管理の徹底を図り、放送を通じて地域、近隣住民の皆様の安心安全をお届け出来るよう努めて参ります。



有限会社 小鹿野温泉須崎旅館

当館は明治40年の創業以来、小鹿野町で旅館業を営んでおります。地域の皆様に支えられ宿泊の他に各種宴会、法要も承っております。宿泊されるお客様には秩父地域の魅力を感じていただくために料理は地産地消を心掛け、微力ではありますが地域の伝統文化の継承、発信にも取り組んでおります。

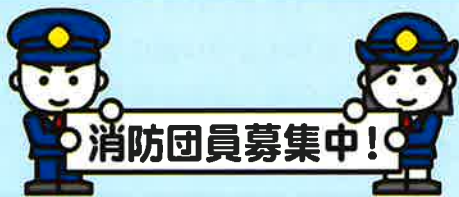
今後も防火管理の徹底に努め、事故の無いように努めて参ります。



リチウムイオン電池からの 火災予防啓発ポスターを作成！

秩父消防本部では、全国的に多発しているリチウムイオン電池からの火災を防ぐため、ポスターを作成しました。

出火要因をみると、使用者の明らかな誤使用（分解、衝撃、充電方法誤り等）により出火する火災の他に、製品の欠陥により製品から突然出火する火災も発生しています。ポスターを参考にいただき、火災を未然に防ぎましょう。



《問い合わせ先》

秩父市【危機管理課 ☎0494-22-2206】
 皆野町【総務課 ☎0494-62-1231】
 小鹿野町【総務課 ☎0494-75-1223】
 横瀬町【総務課 ☎0494-25-0111】
 長瀬町【総務課 ☎0494-69-1110】

秩父消防本部からのお知らせ

リチウムイオン電池の 火災が増えていきます。

リチウムイオン電池が使用されている主な製品

パソコン・モバイルバッテリー・スマートフォン・デジタルカメラ・携帯ゲーム機



～リチウムイオン電池からの出火を防ぐためのポイント～

- ☐ 機器には指定された充電器や電池を使用する。
- ☐ 衝撃を与えないように取り扱い、むやみに分解しない。
- ☐ 高温状態になる場所に放置しない。
- ☐ 電池に異常な高熱、膨張、変形がある場合には使用しない。
- ☐ 正しい廃棄方法で処分をする。

火災事例

- ①落下・浸水したモバイルバッテリーを使用したところ突然発火した。
- ②不燃ごみとして廃棄されたコードレス掃除機のバッテリーがごみ収集車内で圧縮され出火した。



リチウムイオン電池の燃焼実験

リチウムイオン電池は正しく使い、正しく捨てよう！



リチウムイオン電池は、圧力や強い衝撃を受けると発火する恐れがあるため、ご家庭のごみ収集車での処分が推奨されています！



【お問い合わせ】
 秩父消防本部 予防課
 TEL : 0494-21-0121

お知らせ

例年開催しておりました甲種防火管理新規講習会につきましては、本年度より一般財団法人日本防火・防災協会に委託することになりました。令和7年度の新規講習会は、9月18日(木)、19日(金)の2日間、秩父宮記念市民会館けやきフォーラムにて開催をいたします。

会員募集

秩父防火安全協会では、広域管内の事業所様と共に防火思想の普及啓発を図り、会員相互の情報交換と融和を深め、さらに協会の発展を目指しております。ご入会されていない事業所様がございましたら、ぜひご紹介をお願いいたします。

秩父防火安全協会（秩父消防本部予防課内） ☎0494-21-0121

編集後記

昨年、元日に発生した能登半島地震やその後9月に発生した能登豪雨において、甚大な被害をもたらし、多くの尊い命が失われました。被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一刻も早い復旧復興をお祈りいたします。

当協会としましては、秩父地域の事業所、危険物施設の安全管理体制の強化、地域住民の防火防災思想の啓発に努め、今後も安心・安全なまちづくりに寄与してまいります。当協会の事業運営につきまして、会員皆様の更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。 事務局一同